

## 第34回 現代世界の地誌的考察

## ■■ 現代世界の諸地域編 ■■

## 世界のさまざまな地域を見てみよう

～ヨーロッパ(2)～

監修・講師

加賀美雅弘

## 学習のねらい

EU（ヨーロッパ連合）域内には経済格差があり、経済的に発展している西ヨーロッパと、東ヨーロッパの国々の間には依然として大きな差がある。その結果、東から西への労働者の移動が大規模に起こり、労働者が流入する西ヨーロッパでも、流出する東ヨーロッパでも大きな問題になっている。EU 域外から多くの移民・難民が流入しており、多文化共生が課題になっている。

## 今回のポイント

- 産業化の進展
- 経済格差と労働力移動
- 流入する外国人とヨーロッパの対応

## ■■■ 産業化の進展 ■■■

EU では、イギリスのバーミンガムやロンドン、オランダのロッテルダム、ドイツ西部のフランクフルトやシュツットガルト、スイスを経てイタリア北部のトリノやミラノに至る地域で最も産業が発達してきた。この地域はバナナのような形であることから、「青いバナナ」と呼ばれる。青はEUのシンボルカラーであり、まさにEUの産業中心地になっている。ヨーロッパでは18世紀後半にイギリスで産業革命が起こって以来、特にイギリス中部のミッドランドやドイツのルール地方などで石炭を利用した製鉄業が栄え、工業化が進んできた。しかし、20世紀半ばに燃料が石油に変わり、臨海部で石油化学工業が起こった。さらには大都市で自動車製造や精密機械工業、IT産業など高度な技術を駆使した産業が発達して、EUの経済を支えている。また、航空機メーカーのエアバス社のように、いくつかの国で部品生産を分担するという国際分業体制をとる企業もみられる。

## ■■■ 経済格差と労働力移動 ■■■

EU 域内では地域によって経済水準に著しい違いがみられる。1人当たりのGNI（国民総所得）を国ごとに比較すると、ドイツやフランスなど経済がきわめて発達した西ヨーロッパの国々と、かつて社会主義体制にあった東ヨーロッパの多くの国々との多くの間には大きな経済格差があることがわかる。賃金の水準にも格差があるため、国境を越えた人の移動が自由化したことによって、働き口を求めてEU域内を東から西へと移動する人々が急増している。その結果、

